メガソーラー建設計画の中止を求める署名にご協力をお願いします

素晴らしい里地里山

四日市ソーラー計画地（桜地区）を北から臨む

シデコブシ

オオコオイムシ

ホトケドジョウ

ムカシヤンマ

サシバ

ニホンリス

この山がソーラーパネルの海にされる！

自然エネルギーの名のもとに
あわせて東京ドーム約 35 個
分の山林がつぶされようと
しています!
これらができてしまうと
四日市市の山林は、総面積の
たった10%しか残りません。
しかもここには、絶滅危惧種の
生物が専門家も驚くほど数多く
生活しています。

四日市で唯一残っている本格的里山里地があるから生きられる

ササユリ

森林は
地球温暖化を
防いでくれる

四日市足見川メガソーラー計画地（小山田地区）を南から臨む

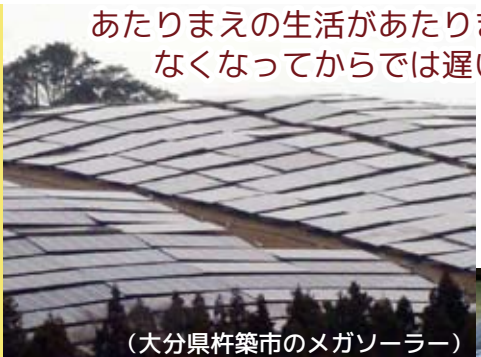
＜メガソーラー建設予定設備の仕様＞

仕様	四日市ソーラー事業（仮称）	四日市足見川メガソーラー	合計
建設面積	約６８ｈａ	約９５ｈａ 東京ドーム約35個分に相当	163ha
パネル数	12 万枚	23.7 万枚	約 36 万枚
発電能力	2.1 万ｋＷ	5.0 万ｋＷ	7.1 万ｋＷ
事業者 代表事業者	合同会社四日市ソーラー (株) レノバ（東京）	四日市足見川メガソーラー合同会社 (株) ジーヴァエナジー（東京）	
アセスメント状況	着工寸前	準備書段階	

広大な森林を伐採して寿命はおよそ
20 年…貴重な里山をつぶしてまでやる
価値があるのでしょうか？

足見川メガソーラーの１年間の発電量は川越火力発電所の１日分にも満たないという…

あたりまえの生活があたりまえじゃなくなる。
なくなってからでは遅いのです。



（大分県杵築市のメガソーラー）

▲高知県土佐清水：
メガソーラーのために削られた山から泥水が海に流出

仙台市：大雨による被害

絶滅危惧種の
オオタカと
サシバが住んでいる
里地里山は
四日市市内には
足見川と桜の計画地
にしかありません

足見川メガソーラー周辺マップ

業者は、反射光や気温上昇の心配も緑地帯を作るから大丈夫だと言う。調整池を造るからゲリラ豪雨が降っても大丈夫と言う。けれど調整池は土砂や葉っぱ等がたまる、しゅんせつしないと水があふれて川が氾濫しかねない。土砂崩れも心配だ。パネルはおよそ 20 年後寿命を迎えるという。発電所でなくなった後もきちんとしゅんせつすると言う。パネルの下に草が生えるが除草剤も撒かないと言う。そんなことが可能なのか？もっと狭いソーラー施設でも農薬を撒いている。大量のパネルのゴミも心配だ。どんな不安を訴えても業者は地元と協定を結ぶから大丈夫と言うが、メガソーラーができて別の業者に切り売りしたり、倒産してしまったら協定はどうなるのか？

―心配なこと―

私たちは、「再生可能エネルギー発電促進賦課金」を毎月徴収されている
（電気代の明細書参照）・各家庭 1 戸当たり年間 8,100 円（全国平均）

太陽光パネルの火災で消防士が感電・有毒ガス等の危険に晒される

焼けたソーラーパネル

記憶に新しい 2017 年 2 月 16 日出火から 3 日目の写真（JNN ニュース）。通販大手「アスクル」の埼玉県三芳町にある物流倉庫で起きた火災。倉庫屋根の焼けたソーラーフロンティア社製 CIS 太陽光パネル（160w/ 枚）3700 枚【CIS= 銅（Cu）、インジウム（I）発がん性、セレン（Se）有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質】

「屋上にはソーラーパネルがあり、水をかけると、消防隊員が感電するおそれがあるため、直接、放水することができませんでした。」（NHK ニュース 2/20）

出展：http://blog.goo.ne.jp/flyhigh_2012/e/0c916b9af7ac0f2d00f6bcc125d1379c

サシバ写真協力：NPO 法人オオタカ保護基金　　写真協力：日本野鳥の会三重

＜お問合せ＞
「足見川メガソーラー計画から里山を守る会」
TEL：080-9739-0381　（矢田）
メール：coo7677@yahoo.co.jp